

## 平成28年度第4回千葉市都市文化賞表彰選考部会 会議録

1 日 時： 平成28年12月18日（日）午後1時30分～午後2時00分

2 場 所： 千葉市生涯学習センター

3 出席者： （委員）

栗生委員、田口委員、八木委員、三谷委員、大内委員

（事務局）

服部都市局長、谷津都市部長、丸山都市景観デザイン室長、

稲増主査、島津主任技師、秋庭主任技師、大竹技師

4 次 第

（1）千葉市都市文化賞表彰式

5 会議録

事務局

定刻になりました、ただ今から、

「千葉市都市文化賞フォーラム2016」を開催いたします。

本日は、お忙しい中、ご来場いただきまして、誠にありがとうございます。  
す。

私は、本日の司会進行を務めます、千葉市 都市景観デザイン室の丸山  
でございます。どうぞ、よろしく願いたします。

それでは、プログラムに従いまして、「平成28年度 千葉市 都市文  
化賞」表彰式を始めます。

まず、主催者および今年度の受賞作品を選考しました、「千葉市景観総  
合審議会表彰選考部会」の委員の皆様をご紹介します。

千葉市都市局長服部卓也でございます。

都市部長 谷津隆之でございます。

続きまして、千葉市景観総合審議会表彰選考部会の栗生明部会長 でご  
ざいます。

田口敦子委員でございます。

八木健一委員でございます。

三谷徹委員でございます。

大内啓子委員でございます。

菊竹雪委員、山崎誠子委員、鈴木雅之委員でございますが、本日は欠席  
です。以上、8名の委員により、選考いたしました。

それでは、主催者を代表しまして、

事務局 都市局長服部卓也よりご挨拶を申し上げます。

服部局長 都市局長の服部でございます。

本来であれば、主催者を代表して熊谷市長が、この場にてご挨拶申し上げるところでございますが、所用で欠席させていただいておりますので、私の方から一言ご挨拶させていただきます。

本日は、年末のお忙しいところ、お集まりいただき、誠にありがとうございます。また、日頃より、都市行政にご協力、ご支援いただいていることに、改めて感謝申し上げます。

そして、都市文化賞を受賞される皆様におかれましては、本当におめでとうございます。

また栗生部会長以下、今回選考いただきました委員の皆様にも御礼を申し上げます。

この都市文化賞は、今回で6回目ということになります。

平成23年から初めまして第6回ということで、今回49点の応募があった中から、グランプリが1点、優秀賞が4点、入選が3点の合計8点を本日表示することになっております。

今回作品を見た中で感じたのは、活動やプロセスを評価しているものが多いと感じました。

例えば、あまり活用されていなかった場所をリノベーションにより、新しい価値を創り出して、アクティビティを高めるような取組が選ばれているということは面白いと感じました。

特に、グランプリのパラソルギャラリーですが、資金面でも自立して続けているという点を我々としても高く評価をしています。

我々はそういう取組をサポートする。そういう立場でやっていくことが、一番持続可能性が高いのではないかと思います。

千葉の都市の魅力というと、駅が新しくなるとの話があれば、一方でパルコが撤退するという話もあります。

この中で、千葉の魅力をあげていくためには、新しい建物に建て替えていくということは大事だと思いますけれども、居心地のいい空間をどうやって作っていくかをということ、プレイスメイキングをしていくことを我々はどんどん取り組んでいきたいと思っておりますし、そういう皆様の取組を支援していきたい、また、こういった賞を活用してあらゆる場で、我々は支援していきたいと考えております。

長くなりましたけれども、千葉の都市がもっと魅力的になっていくこと、我々の取組や皆様の取組がますます進むことを祈念しまして、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

事務局

それでは、受賞作品を ご紹介いたします。

はじめに、グランプリを受賞しました、

「パラソルギャラリー」でございます。

この作品は、毎年10月の土曜日、日曜日の2日間、千葉駅前大通りから中央公園の歩道に白いパラソルを並べ、その下に市民が手作りで作品を展示するイベントです。

現在は、出展参加者の運営会議で企画を進め、出展者が実行委員長に就任しています。

2000年に第1回を開催して以来、恒例の行事となり千葉駅前大通りの都市景観に、人の賑わいをもたらし、より魅力的な街にしていることが千葉市の都市文化への貢献として高く評価され、「グランプリ」という最高賞を受賞することとなりました。

次に、景観まちづくり部門と景観広告部門の、2部門で優秀賞となりました「ハロー ガーデン」です。

この作品は、京成線のみどり台駅に、ほど近い住宅地の空き地を利用して、暮らしにまつわる様々なイベントを行っています。

今回応募された住宅地に限らず、市街地における展開が可能であるとともに、これらの装置群の素材、形状、色彩などのデザインが高く評価されました。

また、その活動プログラムを伝えるサインボードは、ユニークで楽しく、広場に設けられた家具にペイントされたレモンイエローは、周辺の景観から、広場を際立たせていることが高く評価され、景観広告部門においても優秀賞となりました。

次に、建築文化部門の優秀賞となりました、「コブケ コーヒー」です。

この作品は、古くなった倉庫を、カフェにリノベーションしたもので、外観は倉庫らしさを そのまま残しています。

内装インテリアのデザインは統一化し、洗練されており、雰囲気の良さは、倉庫のリノベーションとしては先進的な取り組みとして、千葉市の都市文化の向上に貢献していることが高く評価されました。

次に「竹中工務店東関東支店ZEB化改修」です。

この作品は千葉みなと駅の近くで、2003年に建てられた建物の省エネルギー化、環境配慮型へ改修した事務所です。

目には見えない気温、湿度、大気の質を高度にコントロールし、都市の

快適性に結びつけたことは、今後の選定基準に付け加える必要性を提示した作品として高く評価され、建築文化部門で優秀賞となりました。

続いて、入選となりました3作品をご紹介します。

まず、景観まちづくり部門での受賞となりました、「稲浜ショップの中高生による ウォールアート」です。

この作品は、美浜区高浜4丁目にある地域の商店街の空間を、中高生の実習によって、よみがえらせたプロジェクトです。

その活動記録からも、まちづくり活動の更なる発展型として期待できることが高く評価されました。

次は、景観広告部門での受賞となりました、「コブケ コーヒー」です。

この作品は倉庫のリノベーションとして、建築文化部門で優秀賞となっているデザインと合わせ、地名である小深町やコーヒーを想起させる「シー」と「オー」のロゴマークや、パッケージなど、洗練されたグラフィックが特徴的で、魅力的な広告表現となっていることが高く評価されました。

次は、建築文化部門で受賞となりました、「幕張インターナショナルスクール」です。

この作品は、増築された体育館の外観が、白を基調にスッキリしたカラーリングと、大きな壁面も通りからセットバックされているため、圧迫感なく周辺との調和が保たれていることなどが高く評価されました。

以上、6作品が受賞となりました。

続いて2次選考まで進んだ作品をご紹介します。

「緑に囲まれた昔ながらの沿道の街並み」です。

里山と共存する大きなお屋敷がある街並みは、市内ではなかなか ないものとして応募がありました。

「千葉駅前の沿道をさりげなく彩るモニュメント」です。

車止めに、さりげなく載せた落花生が、都市のイメージを演出しているとして応募がありました。

「高洲第一ショッピングセンター統一看板」です。

商店会に毎年訪れるツバメに着想を得てデザインされた看板が、みんなで共感できた として応募がありました。

「千葉寺の公園名板」です。

石造りで重厚な名板に、公園の名称となった鳥の絵や説明が書かれていることが珍しいとして応募がありました。

「風格ある看板と暖簾広告」です。

歴史を感じる木製看板や 暖簾が醸し出す雰囲気、魅力的であるとして応募がありました。

「路地にある洋菓子店の看板」です。

お店の入口が印象的で、外観の色合いが高級感を醸し出しているとして応募がありました。

「新検見川のコートハウス」です。

ご近所を気にせず開放的な空間をとという要望から二つの中庭をもつ平面形状が特徴であるとして応募がありました。

「千葉経済大学短期大学部棟」です。

千葉県指定有形文化財「レンガ棟」の色調を踏襲しながら現代的な要素を組み合わせ、新たな地域貢献の象徴となる校舎として応募がありました。

それでは、「賞状」の授与に移ります。

受賞者を申し上げますので、その場でご起立をお願いいたします。

賞状の授与は、都市局長の、服部から行います。よろしくお願いいたします。

それでは、グランプリ受賞となりました「パラソルギャラリー」です。

主催：パラソルギャラリー実行委員会様企画運営：千葉大学都市環境デザイン研究室郭東潤研究室様、以上の皆様を代表いたしまして千葉大学都市環境デザイン研究室郭東潤研究室様、ステージ中央へお上がりください。

ご着席ください。

続きまして、景観まちづくり部門優秀賞、景観広告部門優秀賞「ハローガーデン」です。

施主：株式会社マイキー様、設計：アンアーキテクト様、施工：アオキ家具アトリエ様以上の皆様を代表いたしまして、アンアーキテクト様、ステージ中央へお上がりください。

ご着席ください。

続きまして、建築文化部門優秀賞「コブケ コーヒー」です。施主：株式会社翁様、設計、施工：株式会社クロサワカワラテン様、以上の皆様を代表いたしまして、株式会社クロサワカワラテン様、ステージ中央へお上がりください。

ご着席ください。

続きまして、建築文化部門優秀賞「竹中工務店東関東支店ZEB化改修」です。

施主、設計、施工：株式会社竹中工務店様

それでは、株式会社竹中工務店様、ステージ中央へお上がりください。  
ご着席ください。

続きまして、入選でございます。

はじめに、景観まちづくり部門「稲浜ショップの中高生によるウォールアート」です。

施主：株式会社千葉経済開発公社様、原画設計、製作：千葉市立稲毛高等学校・附属中学校美術部様、以上の皆様を代表いたしまして、千葉市立稲毛高等学校・附属中学校美術部様、ステージ中央へお上がりください。

ご着席ください。

続きまして、景観広告部門「コブケ コーヒー」でございます。

施主：株式会社翁様、設計：しなやかデザイン様、施行：株式会社クロサワカワラテン様、以上の皆様を代表いたしまして、しなやかデザイン様、ステージ中央へお上がりください。

ご着席ください。

続きまして、建築文化部門「幕張インターナショナルスクール」でございます。

施主：学校法人幕張インターナショナルスクール様、設計：株式会社シーラカンズアンドアソシエイツ様、施行：株式会社畔蒜工務店様、以上の皆様を代表いたしまして、学校法人幕張インターナショナルスクール様、ステージ中央へお上がりください。

ご着席ください。

賞状の授与は以上となります。

それでは、受賞代表者の皆様、ステージ前へお進みください。

受賞された作品の関係者の皆様、あらためまして、本当におめでとうございます。会場の皆様も、盛大な拍手をお願いいたします。

皆様、ご着席をお願いします。

それでは最後に、今年度の千葉市 都市文化賞 表彰選考部会の部会長をつとめられました、栗生明様より総評をいただきたいと思ひます。

栗生様、ステージ中央へお願いいたします。

栗生委員 まず、本日受賞された皆様にお祝い申し上げたいと思ひます。

大変おめでとうございます。

毎年この都市文化賞の審査にかかわっていますけれども、今年も最終審査に残ったものを1日かけて見て回りました。

実際に建物をみたり、街並みをみたり、広告をみたりと、バスで1日かけて見て回るのですけれども、その中で、「都市文化とはなんであろうか」ということが議論になります。

今回、私が感じたのは、「時間」というキーワードですね。

先ほど、都市局長もおっしゃっていましたが、今回増築であったり、改修であったり、コンバージョン・用途変更、長い年月をかけた活動など、やはり時間と深く関わりがあるものが評価されています。

よく考えてみると、文化というのは時間によって醸成されるものだと思います。

今世界がいきすぎた資本主義社会になる傾向にありますね。

その中で、利益が追及され、時間というものがやや軽視される傾向、今すぐにほしいという要求に応えないといけないということを考えると、自然はこわされる傾向にあり、「伝統文化」は、伝統は忘れられ、文化はないがしろにされるというような傾向にあります。

その中で、今回都市文化賞に応募された作品の多くが、そうではない、もう少し人間的な価値、人間というのは時間的存在だということを踏まえた、時間というものを重要視したプロジェクト、考え方、活動というものが、多くあがってきたのだと思います。

そんな意味で、一つの象徴として今回のグランプリは、「パラソルギャラリー」で、この活動は、千葉市の駅前大通りから中央公園までの区間が2000年に新しく公園が整備され、歩道幅が広がり、樹木が植えられ、品格のあるファサードができた、だけどなにか足りない。

それは、この活動に初期から関わられていて会場においでになられている、千葉大学名誉教授の北原先生の最終講義を公聴させていただいたときに、「街並みあるいは街の景観は、単に整備して綺麗にするだけでは物足りない。人間の賑わいや活動があって、初めて街並みは生き生きとした印象を与えるのだ。人間こそが景観なのだ。」ということをおっしゃっていました。

まさにそういう形でこのパラソルギャラリーは行われていて、今年で16年目になるのですが、この続けるということが非常に大切です。2009年には市からの補助金が途絶えた。だけど、活動していた市民の方々自費でもやりたいという意思があり、活動は続けられています。

毎年、ギャラリー出展者の数が増え、訪れる市民の数も増えています。

まさに、10月の催事期のひとつのイベントですが、インターネットで「パラソルギャラリー」と調べてみると千葉市のものばかり検索結果に表示されます。これは、この活動が、千葉市の都市文化として全国区になっているのではないかと私は感じています。

いままでは、建築などがメインで評価を受けることが多かったのですが、今回は、この16年続いている、さらに将来この活動を続けていただき、千葉市の都市文化に寄与してもらいたいとの思いから「パラソルギャ

ラリー」をグランプリにいたしました。

このあと、パネルディスカッションがありますけれども、その中で、都市文化について議論ができればと思っております。

最後にもう一度、受賞された皆様にはお祝いを申し上げたいと思います。おめでとうございます。

事務局

栗生様ありがとうございました。

会場の皆様もう一度拍手をお願いいたします。

以上を持ちまして千葉市都市文化賞表彰式を終了いたします。

皆様ありがとうございました。

この後、休憩をはさみまして14時15分から受賞作品の代表者と選考部会委員を交えまして、受賞作品の発表と「ちばの魅力ある景観と建築のために」をテーマにパネルディスカッションを行います。

お時間の許す限りご参加をお願いします。

－ 以上 －

午後2時00分 閉会